



One-Bo 利用インタビュー

ピーシーアシスト株式会社様



ピーシーアシスト株式会社

常務取締役

西尾 朋久 様

ピーシーアシスト株式会社

北海道から鹿児島までコンピュータスクールの「Winスクール」を全国に53校展開している。

オフィス系講座、CAD系講座、デザイン系講座、プログラミング系講座など様々な業務に関連する専門講座を講師がマンツーマンで講義を行っている。

受講生は就転職を目指す個人の方から法人の集合研修まで多岐にわたり、2年前からは教室での対面授業だけでなくオンラインでの授業も始め、オンラインでの受講希望者は増え続けている。

コロナ禍で変化した授業形態に対応するため、 One-Boを導入

ピーシーアシスト株式会社では、北海道から鹿児島まで、全国展開のコンピュータスクール「Winスクール」を運営しています。全国各地に教室があるため、コロナ前から社員同士でのオンライン会議は日常的に行われていました。ただ、受講生が近くにいる状況で社内会議を行わざるを得ないシチュエーションに、課題を感じていました。同時にたくさんの受講生が受講しているので、授業のない時間がほとんどなく、教室はいつも使用中。職員の会議のための部屋を確保することがむずかしかったのです。



そんな状況の中、新型コロナウイルスが流行し、授業自体をオンラインで始めることになりました。緊急事態宣言当初は、講師は教室から配信をし、受講生は自宅から授業を受けていました。

しかしその後、教室にくる受講生、オンラインで受ける受講生に分かれ、受講のスタイルは二分化しました。すると、他の講師の声がオンラインの講義越しに入ってしまうなどの問題が生まれ、本格的に可動式ブースの検討を始めたのです。

共有コワーキングスペース等も検討しましたが、電話ができない、声が出せないなどデメリットが多く、最終的に可動式ブースにたどり着きました。

決め手は、3～4時間で設置が完了する手軽さ

私たちは毎日授業を実施しているので、長時間の工事で業務に支障が出ることは避けたいと思っていました。One-Bolは搬入と設置を含め3～4時間で設置が完了するので、授業を休講にせず、設置が完了しました。

また、水道工事や配線工事を含むB工事が不要だった点もよかったです。個室をつくることも考えましたが、消防法によって工事が不可能な建物もありました。One-Bolは消防法をクリアしている商品なので、安心して導入が出来ました。



One-Boを設置したことで、空間がスッカリ！ 集中して会議ができる場所の確保に

個人的に導入して一番よかったと感じるのは、空間がスッカリしたことです。以前まではパーテーションで簡単に仕切り、会議スペースをつくっていたため、少し統一感のない印象でした。しかし、真っ白なOne-Boに会議機能を集約できたことで、オフィス全体がすっきりしました。サイズ感もちょうどよく、空間に馴染んでいます。

One-Boは人気のスペースとなっています。営業中は常にだれかが使用している状態なので、追加での設置を検討したいほどです。にぎやかな場所に設置していますが、従来使っていたパーテーションよりも高い防音効果を感じており、集中して会議や授業ができる場所となりました。

One-Boを活用し、新しい授業形態に対応していく

これまでは教室に実際に来てもらい、体験や説明会を行っていました。しかし、最近では授業体験は教室で行い、面談は別の講師がオンラインで行うなど、ハイブリッドな対応をしています。オンライン化が進めば、どこからでも生徒と講師を繋げられるので、業務の効率化とサービスの向上が図れると思っています。

現在、全国で約50の教室を運営していますが、受講や面談のオンライン化が更に進めば、そもそも受講生が集まる教室自体がいらなくなるのではと考えることもあります。その場合、ますます講師用のオンラインブースの需要が高まりますね。ビジネスの分野ではリモートワークやオンライン会議が進んでいますが、教育の分野でも、よりオンラインを活用した新しいスタイルを追求していけたらと思っています。